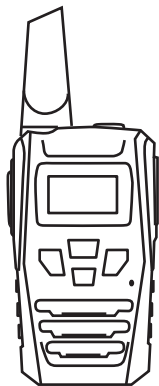


特定小電力トランシーバー

# BC-21

取扱説明書



この度は [ BC-21 ] をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは、大切に保存してください。

故障かな？と思ったら、まずリセットを行ってください（19 ページ  
参照）。また、ハンズフリー機能（VOX 機能）がオフになっている  
ことをご確認ください。

このトランシーバーは日本国内専用機器です。海外ではご使用できま  
せん。

**株式会社 コンパス**

# 目次




安全上のご注意.....	3
安全についてのお願い・ご注意.....	5
BC-21 の便利な機能.....	7
付属品.....	7
ご使用前の準備.....	8
電池の入れ方.....	8
ベルトクリップの取り付け方.....	9
イヤホンマイクの取り付け方.....	9
各部の名称.....	10
通話をする.....	11
電源を入れて音量を調節する.....	11
チャンネルを選択する.....	11
通話の仕方.....	11
電源を切る.....	11
チャンネルスキャン機能.....	12
キーロック.....	12
グループモード機能.....	13
機能設定.....	14
設定モードの入り方.....	14
スケルチ設定.....	15
ラジャートーン.....	15
オートパワーオフ機能.....	16
操作音オン/オフ.....	16
トークビープ.....	17
ハンズフリー機能 (VOX).....	18
バッテリー残量を見る.....	19
リセット.....	19
通信チャンネルについて.....	20
故障かな?と思ったら.....	21
仕様.....	22

# 安全上のご注意

## 表示について

本機を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ安全に使用していただくため、重要な内容を記載しています。

ご使用にあたり、次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。

 危険	人体が死亡もしくは重傷を負いかねない危険が明らかに生じることを想定される内容。
 警告	人体が死亡もしくは重傷を負いかねないことが生じることを想定される内容。
 注意	人体が障害を負いかねなく、物的障害の発生を想定される内容。

## 危険

- 本機の使用にあたり、単3型アルカリ乾電池以外使用しないでください。液漏れ、発火、破裂させる原因となります。
- 火中に投入、分解、改造、はんだ付けは行わないでください。
- 電池が液漏れを起こしたときは、使用をやめてください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 電極をショートさせないでください。

## 警告

- 運転中の使用は、絶対に行わないでください。
- 電子機器、特に医療機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内では、使用しないでください。
- 本機は直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- ごく近くに人がいる場合、送信しないでください。
- 湿度の高い場所での使用はお止めください。また、雨水などにさらされないように注意してください。
- 落下などにより、破損したり正しく動作していないときは、使用しないでください。
- 使用中に煙が出た場合、すぐに使用をやめて電池を外し、お買い求めいただきました販売店または弊社までご連絡ください。
- 海外では使用できません。

## 注意

- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどのそばで送信しないでください。
- 車内のダッシュボードやヒーターの吹き出し口など異常に温度が高くなる場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- アンテナを誤って目に差したりしないよう注意して使用してください。
- 長期間使用しないときは、電池を外して保管してください。
- 本機の汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を使用し柔らかい布で軽くふき取ってください。シンナーやベンジンなどは使用しないでください。
- 本体裏に貼ってある技術基準適合ラベルを剥がさないでください。剥がした状態では、電波を出すことが出来ません。

お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外部的な要因によって、情報・通信等の機会を逸したために生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守り頂く必要があります。

### 電波法に関する注意

※ 下記の内容は電波法により禁止されています。

- 本機裏面の技術適合証明ラベルをはがしての使用
- 本機を分解、改造しての不正使用
- 他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為
- 航空機など、使用を認められていないところでの使用

上記内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

## ご使用上の注意

- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch 機、11ch 機、20ch 機のトランシーバーと通話することが可能です。
- 通話できる距離は、環境により大きく変わります。目安として、見晴らしの良い郊外でおよそ1～2km、市街地でおよそ100～200m です。建物などの障害物により通話距離が大きく左右されます。
- 本機は防水構造になっておりません。雨の日や水がかかるようなところでの使用は、本体が濡れないように注意して使用してください。
- テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯のすぐ近くでは、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらのものから離れて使用してください。

## 特定小電力トランシーバーの規格による制限

- 通信時間制限について

特定小電力トランシーバーで連続的に交信する場合は、送信と受信の時間を合わせて、3分間で自動的に送信を停止し、受信状態になります。

3分間の通信時間制限機能により自動停止になったあとの2秒間は送信できません。2秒間経過後は、通常通り交信できます。

- キャリアセンスについて

無線機が通話状態に無い時に、他の無線機から信号を受信中に“PTT” ボタンを押しても、アラーム音が鳴り送信できません。通話状態にある時はこの限りではありません。

# BC-21 の便利な機能

- グループモード

仲間以外の混信を防ぐグループモード

- ハンズフリー（VOX）機能

PTT を押さなくても、マイクに向かって話すだけで自動送信されます

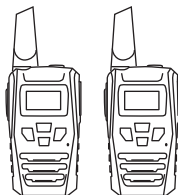
- キーロック

誤ってキーを押さないようにキーをロックして操作禁止にします。

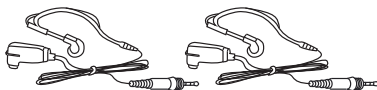
- オートパワーオフ

設定時間機器の操作が無い場合は自動で電源をオフにします。

## 同梱品



• 本体 x2



• イヤホンマイク x2



• ベルトクリップ x 2



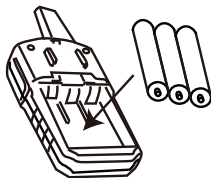
• 取扱説明書（保証書付き）

# ご使用前の準備

## 電池の入れ方

電池を交換する前にベルトクリップを外してください。

1. 本体裏面の▼マークを押して下方方向にスライドさせ、電池カバーを開けます。
2. 電池を+側から3本入れます。
3. 電池カバーを閉めます。

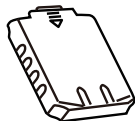


### ■電池について

アルカリ乾電池（単三型3本：4.5V）をご使用願います。

電池の使用時間の目安

電池の種類	使用可能時間
アルカリ乾電池	約 45 時間 *



\* アルカリ電池の使用時間の目安は電池メーカーや製品などにより異なります。  
測定条件：新品電池で、低周波出力 100mW、送信 10 秒、受信 10 秒、待受け 80 秒の繰り返し動作

### ●乾電池に関する注意

乾電池は使い方を誤ると破裂や発熱、液漏れの原因となります。

次の注意事項を必ずお守りください。

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 3 本とも同じ種類で同時期に購入した電池を使用してください。
- 乾電池を充電しないでください
- 火の中に投げ込まないでください。
- ショート（短絡）、分解、過熱をしないでください。
- 長時間使用しないときは、乾電池を無線機から取り出してください。

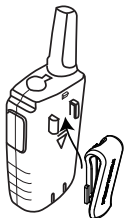
### ●市販の単三型充電式電池について

- エネループなどの単三型充電式電池は使用しないでください。端子や電池被覆がショート、発熱し、電池ケースや本体にダメージを与えることがあります。特に古い電池と新しい電池が混在する場合、電池が発熱しやすくなります。



## ベルトクリップの取り付け方

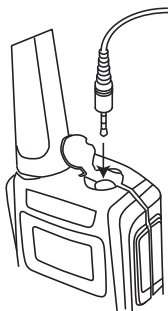
本体のガイドに合わせてベルトクリップを取り付けます。上部にスライドさせ、「カチッ」と音がしたらロックされています。



ベルトクリップを取り外す場合は、上部の爪をベルトクリップ方向に倒しながらベルトクリップを下方向にスライドさせます。

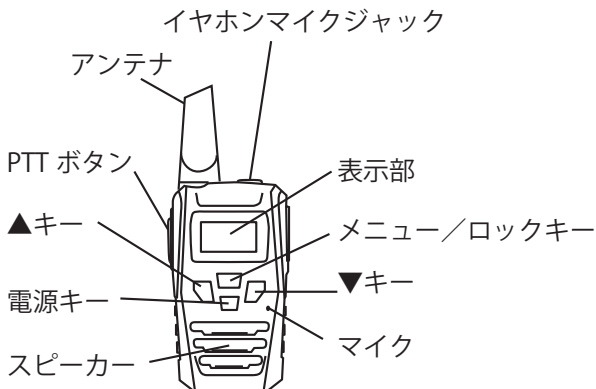
## イヤホンマイクの取り付け方

本体上部のイヤホンマイクカバーをめくり、イヤホンマイクを差しこんでください。

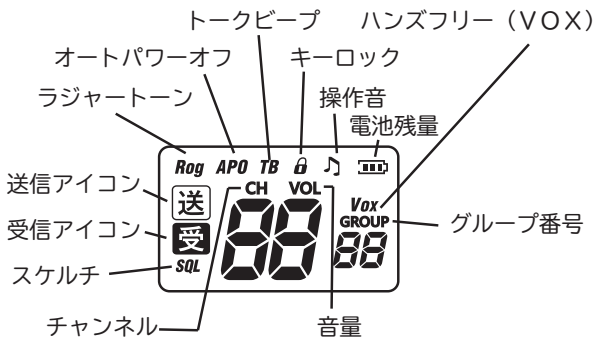


# 各部の名称

## ■本体



## ■表示部



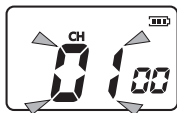
# 通話をする

## 電源を入れて音量を調節する

電源キーを1秒以上押して電源を入れると、チャンネルが表示されます。左右の▲/▼ キーを押して音量を程よい位置に調整してください。音量は1から8まで選択できます。数字が大きくなるほど音量が大きくなります。

## チャンネルを選択する

メニュー / ロックキーを短押しすると、チャンネルが点滅を始めます。チャンネルが点滅をしている間に▲/▼ を押して希望のチャンネルを選択します。9チャンネル機や11チャンネル機との交信は、“通話チャンネルについて”をご参照くださいのうえ、選択してください。



## 通話の仕方

PTT キーを押すと送信を開始します。送信するとLCDの「送信」アイコンが点灯します。PTT キーを離すと「送信」アイコンが消灯し受信待ち受け状態に戻ります。

相手からの信号を受信するとLCDの「受信」アイコンが点灯し受信を開始してスピーカーから相手の音が聞こえます。

## 電源を切る

電源が入っている時に、電源キーを2秒以上押し続けると電源が切れます。

## チャンネルスキャン機能

通話しているチャンネルを自動的に探します。

1. メニュー / ロックキーを押してチャンネルを点滅させます
2. チャンネル表示が点滅している間に▲または▼キーを3秒以上長押しすると、チャンネルスキャンが開始されます。
3. チャンネルスキャン中に▲キーを押すとチャンネルが増加方向にスキャンします。▼キーを押すと、チャンネルが逆方向にスキャンします。
4. 受信チャンネルを見つけると、そのチャンネルで一旦止まります。
5. 受信が終わると、再びチャンネルスキャンが始まります。
6. チャンネルスキャンを終了するには、チャンネルスキャン中に PTT キーまたは、メニュー / ロックキーを押してください。

## キーロック

間違えてキーを押さないように、キーをロックすることが出来ます。

メニュー / ロックキーを3秒以上長押しすると、鍵アイコン (🔒) が表示され、キーロックが作動します。キーロック中に▲ / ▼, メニュー / ロックキーを短押しすると、エラー音が鳴ります。PTT はキーロック中も動作しますので通信は可能です。



キーロックを解除するには、メニュー / ロックキーを再び3秒以上押ししてください。鍵アイコンが消えて、キーロックが解除されます。

ロック状態は電源を切っても保持されます。

## グループモード機能

グループ機能を使用しない場合、チャンネルが一致するとすべての音声を受信してしまいますが、このグループ機能を使用することにより、同じグループの信号のみを受信することができるため他者の通話を遮断して運用することができます。

1. メニュー／ロックキーを2回押してグループ番号表示を点滅させます。



2. ▲／▼ キーで1～38の希望のグループを設定してください。  
00 はグループ機能オフの状態です。
3. PTT キーを押すと、表示されているグループ番号が決定します。

### 注意：

グループ番号が違う相手が送信しても、音声は聞こえませんが受信状態になります。その時にPTTスイッチを押しても送信禁止音が鳴り送信できません。「受信」アイコンが出ていない時に送信してください。

グループ番号はチャンネルごとに設定できます。

# 機能設定

ここでは各種便利な機能の設定を行います。

機能設定を行うには「設定モード」にて行います。

## 設定モードの入り方

1. 電源を切る
2. ▲キーを押しながら電源を入れる
3. ピッと音が鳴ったら各ボタンを放してください。



設定モードに入ると、上図のようにスケルチ設定画面から始まります。

設定モードでは以下の機能の設定ができます。

- スケルチ設定
- ラジャートーン
- オートパワーオフ
- トークビープ
- 操作音
- ハンズフリー (VOX)

設定モードで PTT を押すか、約 10 秒間何も操作をしない状態が続くと設定モードが終了してトランシーバーの待受け状態になります。

## スケルチ設定

スケルチレベル（雑音をカットするレベル）を設定します。通常は2に設定してください。OFにすると雑音に埋もれた通信を聞くことが出来ますが、常に受信状態になり送信できなくなります。雑音に埋もれた通信を聞く時以外はOFにしないでください。

1. 設定モードに入るとSQLが点灯し、中央の表示が点滅をします。
2. UP/DOWNキーでスケルチの設定値（3～1、OF）を選択します。OFに設定するとスケルチを使用しない状態（常時スケルチオープン）になりますので、常に雑音が出ます。
3. メニュー/ロックキーを押すと選択した値が保存され、次の設定項目に移ります。PTTキーを押すと選択した値が保存され、設定モードが終了してトランシーバーの待受け状態になります。

## ラジャートーン

送信の最後にトーンを送信して通話の終了を相手に知らせます。初期設定はONです。

1. 設定モードに入りメニュー/ロックキーを1回押すとRogが点灯します。



2. ▲/▼キーを押してラジャートーンのON/OFFを設定します。
3. メニュー/ロックキーを押すと選択した値が保存され、次の設定項目に移ります。PTTキーを押すと選択した値が保存され、設定モードが終了してトランシーバーの待受け状態になります。

## オートパワーオフ機能

何も操作しない状態が設定した時間継続すると自動的に電源が切れます。電源の切り忘れを防止する機能です。

1. 設定モードに入りメニュー/ロックキーを2回押すとAPOが点灯します。



2. ▲/▼ キーを押して希望の時間（1時間～6時間）またはオフ（OF）にします。
3. メニュー/ロックキーを押すと選択した値が保存され、次の設定項目に移ります。PTT キーを押すと選択した値が保存され、設定モードが終了してトランシーバーの待受け状態になります。

## 操作音オン/オフ

---

操作音のオン/オフを設定します。

1. メニュー/ロックキーを4回押すと操作音アイコンが表示されます。



2. ▲/▼ キーを押してON またはOFF を選択します。
3. メニュー/ロックキーを押すと選択した値が保存され、次の設定項目に移ります。PTT キーを押すと選択した値が保存され、設定モードが終了してトランシーバーの待受け状態になります。

操作音アイコンが表示されているときは、キートーンがオンの状態です。



## トークビープ

送信をする際に、PTT を押してから音声を送信するまでに時間がかかったり、受信側の無線機の受信立ち上がりが遅かったりすると、通話の頭切れをすることがあります。送信者はトークビープを聞いてから話を始めることで、通話の頭切れを防ぐことができます。

1. 設定モードに入りメニュー/ロックキーを3回押すとTB が点灯します。



2. ▲/▼ キーを押して ON または OF を設定します。  
ON: トークビープを鳴らす  
OF: トークビープを鳴らさない
3. メニュー/ロックキーを押すと選択した値が保存され、次の設定項目に移ります。PTT キーを押すと選択した値が保存され、設定モードが終了してトランシーバーの待受け状態になります。

## ハンズフリー機能 (VOX)

PTT キーを押さずにマイクに向かって話すだけで、自動的に送信することが出来ます。話をやめると、自動的に受信待ち受け状態になります。

1. メニュー/ロックキーを5回押すと VOX アイコンが表示され、メインの表示が点滅します。



2. ▲/▼ キーで1～3を選択します。数字は音声入力の感度調整をあらわしており、1が低感度、2が中感度、3が高感度となります（3が一番音に反応しやすい）。ハンズフリー機能を使用しない時は、OF を選択してください。
3. メニュー/ロックキーを押すと選択した値が保存され、次の設定項目に移ります。PTT キーを押すと選択した値が保存され、設定モードが終了してトランシーバーの待受け状態になります。

### 注意：

- この機能は、受信時・確認音が鳴っているとき・スケルチ OFF の時、各機能設定中は使用できません。
- バッテリー容量が少なくなるとこの機能は働きません。早めに電池を交換してください。
- 連続して通話できる時間は3分間です。

## バッテリー残量を見る

バッテリー表示の3本のバーが、全て点いている状態であれば、問題なく使用することが出来ます。容量が少なくなると、バーの本数が少なくなります。残量表示が空になっている状態では送受信できません。その際は早めに電池を交換してください。



このバッテリー残量表示はあくまでも目安です。

## リセット

動作が不安定な状態や誤動作を起こしたとき、ディスプレイの表示に異常が生じたときにお買い上げ時の状態に設定を戻します。

\*このとき、お客様が設定した状態は全て工場出荷時の状態にされますのでご注意ください。

1. 電源を切ります。
2. メニュー/ロックキーを押しながら電源キーを押し、約2秒後にピープ音が鳴るとリセットが完了します。その後、キーを放してください。

## 通信チャンネルについて

既に本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通話チャンネルを合わせることで、本機と交信することが可能です。

通話チャンネル適合表

本機および多数の20ch機	11ch機	9ch機	他表示タイプの20ch機
ch1	ch1		ch1
ch2	ch2		ch2
ch3	ch3		ch3
ch4	ch4		ch4
ch5	ch5		ch5
ch6	ch6		ch6
ch7	ch7		ch7
ch8	ch8		ch8
ch9	ch9		ch9
ch10	ch10		ch10
ch11	ch11		ch11
ch12		ch1	ch h1
ch13		ch2	ch h2
ch14		ch3	ch h3
ch15		ch4	ch h4
ch16		ch5	ch h5
ch17		ch6	ch h6
ch18		ch7	ch h7
ch19		ch8	ch h8
ch20		ch9	ch h9

## 故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>電池の向きが違っている</li><li>電池が消耗している</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>電池を正しい方向に入れる</li><li>新しい電池に交換する</li></ul>
受信できない 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>PTT が押されている</li><li>グループ番号が異なる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>PTT を放す</li><li>相手と同じグループ番号にする</li></ul>
相手と通話できない	<ul style="list-style-type: none"><li>チャンネルまたはグループ番号が違う</li><li>相手との距離が離れすぎている</li><li>通話モードが異なる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>相手と同じチャンネル、グループ番号に合わせる</li><li>通話のできる距離まで近づく</li><li>相手と同じ通話モードにする</li></ul>
キーを押しても表示 が変わらない	<ul style="list-style-type: none"><li>キーロック状態になっている</li><li>その他の異常</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>キーロックを解除する</li><li>リセットをする</li></ul>
表示がすぐに消える	電池が消耗している	電池を交換、または充電をする
勝手に送信される	VOX 機能がオンになっている	VOX 機能をオフにする

それでも動作しない場合は・・・

下記 Blue Century 公式サイト [ お問い合わせフォーム ] より、購入時の「ご注文番号」などの必要事項をご記入いただきご連絡くださいませ。

その後、弊社スタッフより折り返しご連絡差し上げます。

<https://blue-century.com/guide/ask/>

その他、メールでもお問い合わせが可能です。

[info@blue-century.com](mailto:info@blue-century.com)



## ■仕様

送受信周波数.....	422.050 ~ 422.175MHz (12.5kHz 間隔、 11 波) 422.200 ~ 422.300MHz (12.5kHz 間隔、9 波)
電波形式.....	F3E, F2D
送信出力.....	10mW
受信感度.....	-8dBuV 以下 (12dB SINAD)
低周波出力.....	500mW 以上 (@ 8Ω、10% 歪)
電源電圧.....	DC4.5V (単三型乾電池 3 本使用)
使用時間.....	約 45 時間
測定条件:	新品アルカリ単三型電池を使用。低周波出力 100mW 時に送信 10秒、受信10秒、待受は80秒の繰り返し動作
動作温度範囲.....	-10°C ~ +50°C
寸法.....	約 103 (高さ) x 58 (幅) x 30 (奥行) mm (突起部除く)
重量.....	約 83g
付属品.....	ベルトクリップ x2 個 イヤホンマイク x2 個 取扱説明書

## 保証規定（本体のみ、付属イヤホンマイクは除く）

本取扱説明書に保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、販売店名」等を記入、ご確認の上、販売店より受け取ってください。

- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。（イヤホンマイクに関しては初期不良のみ交換対応）
- 修理を依頼される前に、「故障かな?と思ったら」(P21)を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、下記販売元にご連絡ください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが消去される場合があります。
- 本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 正常な使用で故障した場合、保証書をご提示いただき、保証期間内であれば修理にて対応させていただきます。その際、製品を販売店にお持ち込みいただくか弊社宛に送付していただくセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っていません。
- 保証期間中の代替機の貸し出しは行っていません。
- 保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有料にて修理致します。その際は、下記販売元へ連絡願います。

### 無料保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書、添付ラベル等の注意書きに従って正常に使用し故障した場合、無償修理させていただきます。
2. 次の場合には、保証期間でも有料修理となります。
  - (イ) 保証書の提示がない場合。もしくは、お客様、販売店名、お買い上げ年月日の記入がない、もしくは字句を書き換えた場合。
  - (ロ) 使用上の誤りや、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因で生じた故障及び損害。
  - (ハ) 故障の原因が本機以外の製品にある場合。
  - (ニ) 落下、冠水などによる故障及び損害。
  - (ホ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障及び損害。
  - (ヘ) 製造番号の改変もしくは取り外した製品。
  - (ト) 消耗部品（イヤホンマイク等）

保証は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

\* この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売元までお問い合わせください。

# 保証書 持込修理

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無償修理させていただきます。

- 修理は Blue Century 公式サイトの [ お問い合わせフォーム ] より、購入時の「ご注文番号」などの必要事項をご記入いただきご連絡くださいませ。その後、弊社スタッフより折り返しご連絡差し上げます。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

尚、イヤホンマイクに関しては、保証期間はご購入後1ヶ月となります。(初期不良・及び正常な状態での使用中に製造上の不備に起因する故障が発生した場合)

お客様へのお願い

修理の際はお手数ですがご購入日時、ご住所、お名前、電話番号等が記載された購入履歴(または販売証明)を添付してください。

商品名	特定小電カトランシーバー BC-21		
保証期間	1年間	ご購入年月日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL		
	お名前		
ご購入サイト等			

## 株式会社 コンパス

その他のお問い合わせはこちらまで。

info@blue-century.com

Blue Century 公式サイト

<https://blue-century.com/>

Printed in China



▲お問い合わせ  
フォームをご利用  
下さい。